

令和7年度 札幌稲穂高等支援学校 学校案内



夢に向かって
心豊かに
力一杯躍動する

◆ Graduation Policy

育てたい資質・能力

知 識 ・ 技 能

社会生活に必要な知識・技能・マナー・ルールを身につけた生徒を育てる。

思考力 ・ 判断力 ・ 表現力

自分の願いや思いをしっかりと表出（言語化）できる生徒を育てる。

学びに向かう力・人間性等

将来をイメージしながら、社会の一員として自立し、働くことのできる生徒を育てる。

◆ Curriculum Policy

教育課程の編成と実施

キャリア発達を促す
教育課程の編成と実施

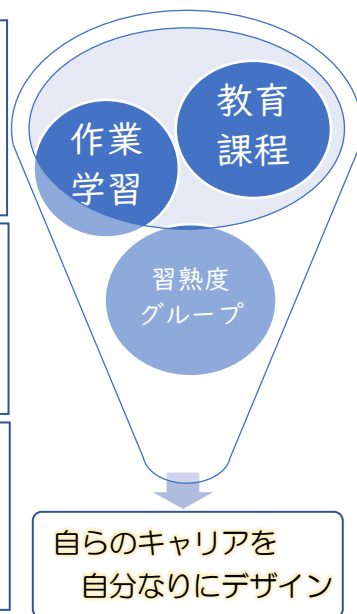
生徒一人ひとりの可能性が生かされるよう、教育方法・内容を工夫し、生徒の力を最大限に伸ばす。

適切で主体的な進路選択

働くための知識、技能、態度、意欲が身につくよう、生徒の実態に応じた作業学習を行う。

習熟度グループでの学び

各教科の基礎的・基本的な力の定着を目指し、生徒のもっている学力を深められる学習活動をする。



◆ Admission Policy

求める生徒像

努力ができる

社会的・職業的自立を目指し、学習活動に一生懸命取り組もうとする生徒。

積極的に取り組む意欲がある

中学校でも、本校入学後でも様々な活動に積極的に取り組もうとする生徒。

入学者

自分の力をできる限り発揮する

集団の中で仲間とともに積極的に行動し、自分の力を発揮しようと努める生徒。

互いの違いを認め合える

学校でも社会でも、互いの違いを認め合い豊かな人間関係を作ろうとする生徒。



私がデザインしました！

稲穂は今年で開校 **15** 周年！

北海道では初めて、寄宿舍のない完全自力通学型の学校として平成23年4月に誕生した札幌稲穂高等支援学校は、令和2年度に開校10周年を迎えました。

「夢に向かって、心豊かに、力一杯躍動する」を目標に、社会自立、職業自立を目指し、作業学習を中心とした学習に取り組んでいます。

これまでの卒業生は400人を超え、市内の企業や事業所で活躍しています。

左のマークは、10周年を記念して生徒がデザインした本校のシンボルマークです。

いなほの教育

キャリア発達支援

自分の成長に気づく。見つめる。



学校生活全般で、生徒のキャリア発達を促す支援を大切にしています。自分の取り組みを客観的に見て、自分を励ましながらか成していくのがキャリア発達。

「何を・どうやって・なぜ 学ぶのか」に、自分で気づき、取り組むことを様々な学習に取り入れています。



ホンモノの働く力

働いて、学んで。



いなほの学習の柱は大きく2本。

一つ目の作業学習では、働く力、スキル、態度や姿勢を、実践を通して学びます。

もう一つの柱の教科学習では、卒業後、生きて使える知識や技能を学びます。

ホンモノの力をつけるため、いなほは作業も教科も大切にします。



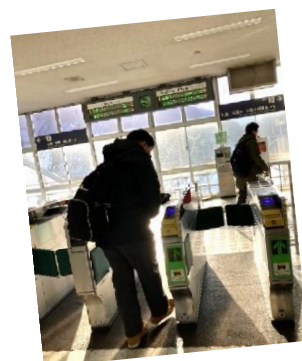
完全自力通学

この道は、将来へ続く道。

いなほの生徒はみんな、公共交通機関を使って、一人で通学します。

何時に起きて、家を出るか。どこで乗り換えるか。もしも、交通機関が乱れたら？

そんな毎日の積み重ねが、将来の進路選択、進路決定にも生かされます。



学科紹介

いなほでは、3年間同じ学科で作業学習をします。

それぞれの学科の特色を生かして、仕事に臨む姿勢、職場での基本的な態度など、将来の働く生活に向けた基礎的な力を身につけます。

生産技術科

キャンドル製作、紙すき、サンドブラスト、園芸、土木センターでの作業などがあります。手先を使う作業から体を動かす作業まで、3年間色々な作業に取り組みます。



私は様々な作業ができることを魅力に感じてこの学科を選びました。3年間で付いた力は、身体を動かす作業では体力、手先の細かい作業では集中力です。

また、1年生のときは苦手だった仲間とのコミュニケーション力や効率的な作業の仕方など多くのことを身に付けることができたので、この学科に入って良かったと思いました。（12期生）



木工科

3年間、木工製品の製作を行います。研磨などの基礎から始め、大型機械の操作、パーツ加工、組み立て、塗装などに取り組みます。安全第一で、ていねいで正確な仕事を目指します。



中学生の時に木工作業をしていて、木で製品を作るのが楽しいと思っていました。くぎ打ちや色ぬりが好きで、得意になりました。また、体力と集中力もつきました。長時間やすりがけをするのが大変だということもありますが、みんなで協力し、製品が完成すると、やりがいを感じることができます。道具や機械を使う作業があるので、物づくりが好きな人や集中力がある人が向いていると思います（12期生）



環境・流通サポート科

環境分野では、校内外の清掃が主な作業です。プロ仕様の道具を使い、使い方から清掃中の身のこなし、手順などを本格的に学びます。流通分野では、商品の仕入れや販売、名刺や冊子の作成・印刷作業をとおり、流通の基本や事務機器の扱いを学びます。



きれい好きで家で掃除をすることが好きなので、この学科を選びました。清掃で学校をきれいにして、ピカピカになるのがとてもうれしいです。製品製作では、メモ帳作りで穴あけが得意で、きれいに完成すると愛着がわきます。

入学後、自分から報告・連絡・相談をするようになりました。掃除好きで、体力や集中力があり、一生懸命作業できる人が向いていると思います。(12期生)



家庭総合科

ミシンを使った作業を中心に、刺し子やビーズなどの手芸に取り組みます。手先を細かく使う作業が多いです。また、畑作業や接客、カフェ運営も行っています。



ミシンや縫工作業が好きなので選びました。ミシンや裁縫の作業作製だけではなく、畑作業、学校から近い施設の清掃や高齢者との交流、カフェ運営の方法などさまざまなことが学べます。学校祭やマルシェなどで販売したときに、お客様から感謝の言葉をいただいたり、製品が全部売れたりすると、とてもうれしいです。男女問わず仲が良く、楽しく協力して学んでいます。細かい作業能力や集中力、コミュニケーション力をつけたい人におすすめの学科です。(13期生)



教科の学習

習熟度別のグループに分かれて学習できるのがいなほの特徴です。

学ぶ教科は、11～12 教科。1 単位時間は 50 分間です。

基礎的・基本的な内容をベースに、今、そして将来の生活で役に立つ知識が学べる題材で学習に取り組みます。

教科の日の時間割（例）

	A	D
1	外国語	数学
2	音楽	国語
3	数学	職業
4	情報	外国語
給食・昼休み		
5	保健体育	
6		

登校時間は 8:10 から 8:40 です。
SHR 後、9 時に授業が始まります。

教科学習は各グループの教室で、それぞれの時間割にそって授業を受けます。

休み時間は 5 分間。先生はつきません。作業学習の時には、学科ごとに 1 回休憩をとります。

午前 4 時間が教科、午後が作業の日が週に 1 回あります。（1 年生の例）

下校時間は 5 時間授業の日は 14:40、
6 時間授業の日は 15:35 です。

作業の日の時間割（例）

1	作業学習 (所属学科)	
2		
3		
4		
給食・昼休み		
	A	D
5	美術	家庭
6	国語	美術



自分の力に合ったグループで学習できます。4つの学科の生徒が交ざったグループなので、他学科の友達もふえます。教科書、プリント、タブレットなどを使い、学習します。苦手だった教科も、楽しく学べるようになる生徒がたくさんいます。



情報の授業では、一人一台のパソコンを使って、文字入力、表計算、グラフ作成などの練習をします。プレゼンテーションの資料作成、発表も行います。

授業は、教科担当の先生が指導しています。3年間を通して、たくさんの先生から教えてもらうことができます。なお、外国語では、外国人の先生が来ることもあります。

保健体育では、基礎的な運動のほか、パークゴルフや歩くスキーなど、校外での学習もあります。



進路を決める

学校で学び つけた力を、職場での実習を通して確かめながら、進路希望先を決めていきます。

卒業後は、3 年間卒後支援があります。

現場実習

1 年生

★働く体験をする

- ・前期に 1 回
- ・7 日間
- ・先生が引率
- ・グループで実習
- ・学校の近くの職場

2 年生

★自分の適性を考え、進路希望先の決定につなげる

- ・前期 7 日間、後期 10 日間の 2 回
- ・一人で通い、働く
- ・自宅から通える場所

3 年生

★進路を決める

全 員

- ・後期（9 月ごろ）に 2 週間～4 週間
- ・一人で通い、働く
- ・希望先での「就職試験」②（前提実習）として、職場に評価していただく

一般就労希望者

- ・前期 1 回目
- ・単独実習
- ・「就職試験」①

一般就労希望者は 2 回の実習の結果で採用が決まります

1、2 年生は職場見学もあります。卒業生が働いている職場にうかがい、働く生活をイメージします。



進路状況

※ 人数は、それぞれの学年の卒業時点におけるものです。

期	企業など		福祉事業所など					進学	その他	合計
	一般就労	就労継続 A 型	就労移行	就労継続 B 型	自立訓練	生活介護	地域活動支援センター			
10	2 名	2 名	15 名	10 名	1 名	0 名	0 名	0 名	0 名	30 名
11	2 名	2 名	10 名	5 名	1 名	0 名	0 名	0 名	0 名	20 名
12	6 名	2 名	2 名	14 名	1 名	1 名	0 名	1 名	1 名	28 名
合計	10 名	6 名	27 名	29 名	3 名	1 名	0 名	1 名	1 名	78 名
%	12.8%	7.7%	34.6%	37.2%	3.8%	1.3%	0.0%	1.3%	1.3%	

卒業生のお仕事紹介



札幌市教育委員会

札幌市内の中学校

家庭総合科 9 期生

札幌市内の中学校で、公文書のコピー

や配布、HP の更新、校内外清掃などの仕事を福祉補助員として頑張っています。人と会話するのが苦手でしたが、いなほでは作業学習や部活動で、卒業後は就労移行支援事業所でのセルフケアプログラムなどを頑張り、今の職場に就職しました。今まで学んだ「報告連絡相談」「時間に間に合わせる」「体力」を大切に今仕事をしています。苦手なことでも努力を継続できたら自信に変わります。



社会福祉法人 三草会

パン工房 あんびしゃす

環境・流通サポート科 7 期生

パン作りをしています。生地を丸めたり、機械に入れたり、焼いたり。どの仕事も楽しいです。

自分から積極的に動く、分からないことは確認する、ということをやいなほで学びました。

今も仕事に意識しているので、困ったことはありません。

不安なことがあっても、一つずつ頑張っているうち、自信がもてるようになります。



部活動を楽しむ

本校では、陸上部、バスケットボール部、サッカー部、美術部、合唱部の5つの部活動があります。週2、3回、1回につき1時間から1時間半程度で活動しています。どの部も男女合同で行い、未経験でも参加可能です。



サッカー部



美術部



陸上部



合唱部



バスケットボール部

学校行事



- 4月 入学式
- 7月 マルシェ・de・いなほ（販売会）
- 11月 学校祭
- 3月 卒業式
- 学校説明会



各学年行事として

- ★遠足（1年生）：札幌近郊
- ★宿泊研修（2年生）：道内1泊
- ★見学旅行（3年生）：道外3泊

があります

※各行事の時期や内容は、変わる場合があります。



保護者の方にご協力いただきたいこと

個別懇談（年3回）、進路説明会・授業参観（年3回）
学年懇談、PTA 職場見学会（希望者）

制服

スカートにはピンク、スラックスには水色のラインが配置されたさわやかな制服は、生徒たちにも好評です。



*夏季は学校指定のポロシャツ（白）を着用することができます。

*女子はスラックスも選択できます。

教育相談でよくある質問

教育相談では、こんなご質問やご相談があります。

- ☐ 療育手帳がありません。受検したいのですが、どうしたらいいですか。
- ☐ どうやって学科を決めたらいいか 迷っています。
- ☐ 入学した後、学科を変更することはできますか？
- ☐ 在校生の男女比を教えてください。
- ☐ 携帯電話・スマートフォンは学校に持って行ってもいいですか？
- ☐ 入学金や授業料などはかかりますか？
- ☐ 食物アレルギーがあります。食べられないものが出たら、どうしたらいいですか？
- ☐ ・交通機関を一人で使ったことがありません。親が送り迎えをしてもいいですか？
・JR やバスに乗れません。学校で指導をしてもらえますか？
- ☐ デイサービスを使っています。利用日には、お迎えに行ってもらってもいいですか？
- ☐ JR やバスが遅れた場合、遅刻になりますか？遅延証明はいりますか？
- ☐ 中学校で勉強していない教科があります。授業についていけるか、心配です。
- ☐ テストや宿題はありますか？
- ☐ 専門学校への進学を考えています。授業で対策はしてもらえますか？
- ☐ コミュニケーションが苦手です。いなほには中学校の先輩もいないので、心細いです。
- ☐ 中学校では、遅刻や欠席することが多いです。進級や卒業に関係しますか？
- ☐ 勉強が苦手で、授業に集中できません。個別対応はしてもらえますか？
- ☐ いなほを卒業した後、学校とのつながりはどうなりますか？
- ☐ 卒業生の進路先を教えてください。

中学生のうちに頑張ろう

3年間で社会に出るための準備をするのは、とても大変。

中学生の今から、少しずつ準備をしておくことで、高校生活の良いスタートがきれます。

- 1 学校や社会のきまり、^{やくそく}約束を守りましょう。
- 2 生活のリズムを^{ととの}整え、^{ちこく}遅刻・^{けっせき}欠席をしないようにしましょう。
- 3 家の手伝いをして、^{てっだ}自分のことは自分でできるようにしましょう。
- 4 人と仲良く協力したり、^{こま}困った時には^{そうだん}相談したりできるようにしましょう。
- 5 バス、地下鉄、JRなどの^{こうきょうこうつうきかん}公共交通機関の利用の仕方、
^{こうきょうば}公共の場でのマナーを学びましょう。
- 6 外出時の^{がいしゅつじ}トラブルについて考え、もしものときの^{たいしよほう}対処法を^{かぞく}家族と相談しましょう。
- 7 タブレット^{たんまつ}端末や^{たんまつ}スマートフォンの使い方のルールを^{かぞく}家族と決めましょう。
また、使いすぎに^{ちゅうい}注意しながら 上手に使う方法を身に付けましょう。

アクセス

■JR を使う場合

→「星置駅」で下車、徒歩 10 分

■地下鉄やバスを使う場合

→地下鉄東西線 宮の沢駅で下車

→JR 北海道バス

バス停「手稲鉾山通」で下車、徒歩 3 分



いなほに教育相談に来るときには、
通学方法を確認するために
公共交通機関で来てみてくださいね！



環境・流通
サポート科
オリジナル
キャラクター
いなほん

〒006-0034

札幌市手稲区稲穂 4 条 7 丁目 12-1

Tel 011-695-6922 Fax 011-695-6951

ホームページはこちらから



<http://www.inahokoushi.hokkaido-c.ed.jp/>

